第36回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優　勝　リトルジャガーズ
準優勝　南部ルーキーズ
第三位　長　崎　F　L　B
第四位　みさと団地ライオンズ



開催期間　　平成28年11月～平成29年2月

主　催　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会
後　援　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
株式会社カリフ・柏食品株式会社
ダイワマルエス株式会社　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ

旬をつくる、カリフの麺。



株式会社カリフ

柏市旭4-11-8

☎04-7147-9691

第36回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

目　次

伝統ある二本の優勝旗（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第36回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　成績表・・・・・・・ 2

決勝大会 概評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」・・・・・・・・・・・・・・ 18
平成29年2月28日　No.268

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第36回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム・・・・・・ 35

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3・・・・・・・ 36

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項・・・・・・・・・・ 37

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（平成28年1月改選）・・・ 40

第36回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告・・・・・・・41

※写真提供は、㈱共同写真企画


カリフ杯少年野球大会
優勝
寄贈 松崎公昭


優勝
千代田ファイターズ

第36回カリフ･マルエス旗争奪少年野球
決勝大会成績表

我孫子 リトルジャガーズ
柏 沼南ファイヤーズ
野田 野田ドンキーズ
松戸 双　葉
流山 カージナルス
流山 流山ホークス
柏 高野台ジャガーズ
松戸 常盤平ボーイズ
柏 柏ドリームス
流山 長崎FLB
我孫子 新木野コンドル
三郷 新和ヴィクトリー

江戸川台フェニックス 流山
小田急ライオンズ 流山
松戸スラッガーズ 松戸
豊四季イーグルス 柏
ブラックバード 我孫子
みさと団地ライオンズ 三郷
セントラルパークス 松戸
千代田ファイターズ 柏
野菊野ファイターズ 松戸
南流ファイターズ 流山
南部ルーキーズ 野田
流山マリーンズ 流山

リトルジャガーズ 6-5

三位決定戦
長崎FLB 6
みさと団地ライオンズ 5





☆　★　決勝大会概評　★　☆

攻守に安定したリトルジャガーズが優勝

南部ルーキーズ健闘　三位は長崎ＦＬＢ

総数６４チームが参加して１２ブロックに分かれてリーグ戦を行い、そのうちの各ブロック上位２チーム合計２４チームが出場して開催された第３６回カリフ・ＳＧ旗争奪少年野球・決勝大会は、平成２９年１月２１日を初日に、２８日と２９日、２月４日の四日間にわたって野田河川敷グランドで行われた。

初日の一回戦は、野田ドンキーズ vs 沼南ファイヤーズ戦、双葉 vs カージナルス戦、ブラックバード vs 豊四季イーグルス戦の３試合以外は大差の勝負が多かったが、二日目の２回戦はセントラルパークス vs 野菊野ファイターズの松戸勢同士の対決が圧巻だった。この試合は２－２の接戦で両チーム譲らず、勝負はサドンデス試合となって最終的には野菊野ファイターズが勝利したが、内容の濃いハイレベルの一戦だった。

さらに三日目の準々決勝戦も盛り上がって好試合が多かった。高野台ジャガーズ vs 長崎ＦＬＢ戦は１点を争う大接戦となって、最後は長崎ＦＬＢが３－２で勝利してベスト４進出を決めた。また、松戸スラッガーズ vs 三郷団地ライオンズ戦も１－１の手に汗を握るシーソーゲームを展開した結果、勝負はサドンデス試合となって、みさと団地ライオンズが２－１で快勝した。その他の準々決勝戦２試合は、リトルジャガーズが流山ホークスに、南部ルーキーズが野菊野ファイターズにそれぞれ大勝してベスト４に進出した。

かくして四日目の２月４日（土）は、ベスト４に進出したチームが全てダブルで、準決勝戦２試合と三位決定戦及び決勝戦は、野田河川敷グランドＣ面とＤ面で同時に開催した。

まず準決勝戦の２試合は、リトルジャガーズが長崎ＦＬＢに５回７点差のコールド勝ちを収めて決勝戦進出を決めれば、みさと団地ライオンズ vs 南部ルーキーズ戦は、序盤から点の取り合いによる大接戦となった。そして６回を終って５－５の同点かつ時間となったことで、勝負はタイブレークでサドンデス試合となって、南部ルーキーズがサヨナラ勝ちで決勝戦に駒を進めた。

決勝戦は、初回にリトルイーグルスが２番大野の安打と、４番楯本の満塁走者一掃の三塁打などで幸先良く４点を先取し、さらに３回にも先頭打者楯本の内野ゴロ失と二三盗から、相手野手の返球悪投などで１点を追加して、圧倒的に有利の展開に持込んだ。

序盤で５点のビハインドを追う羽目になった南部ルーキーズは、４回に先頭打者青木の安打二塁盗塁から、次打者の内野ゴロで青木を二塁に進めて反撃のチャンスを掴んだが、この回は後続無く０点に終った。しかし、５回には二つの四球でチャンスを築き、１番吉岡の安打と４番廣崎の内野ゴロなどで２点を挽回して、遅まきながら点差を詰めて形勢を立て直した。

しかしリトルジャガーズは、５回３番庭田の安打と５番田宮のタイムリー安打で１点を追加

して再び点差を拡げ、粘る南部ルーキーズは最終回の反撃を二死からの３番内海の二塁打による１点に抑えて、最後まで余裕を見せて勝利を飾った。

決勝戦を振り返ると、リトルジャガーズの先制４点が大きかったが、それ以上に攻守両面にわたって安定した実力を発揮した戦い方が光る。その結果、常に試合の主導権を握っていたことが最大の勝因。対する南部ルーキーズは、初回の４失点が痛恨だったが、それにもめげず毎回の如く走者は出すものの、肝心の決定打が今一足りなかったのが最後まで響いた。

なお、決勝戦と並行して行われた長崎ＦＬＢ対みさと団地ライオンズの三位決定戦は、初回から点の取り合いで好試合となったが、５－５のタイスコアで迎えた最終回に、長崎ＦＬＢが劇的なサヨナラ勝ちを演じて三位を獲得した。

以下最終日の成績

☆準決勝戦　２月４日(土)　野田河川敷グランドＣ面

長　崎　ＦＬＢ	０００	００		＝　０
リトルジャガーズ	０００	３４Ｘ	コールドゲーム	＝　７

審判：球審・山本(松戸市少年野球連盟)　塁審・加納(大会役員)、
徳重(リトルキング)、青柳(松葉ニューセラミックス)

☆準決勝戦　２月４日(土)　野田河川敷グランドＤ面

みさと団地ライオンズ	０１２	１０１	⓪	＝　５
南部ルーキーズ	２００	２１０	①Ｘ	＝　６

審判：球審・星本(柏市少年野球連盟)　塁審・岡本(我孫子子市少年野球連盟)
山本(松戸市少年野球連盟)、梶居(我孫子市少年野球連盟)

☆三位決定戦　２月４日(土)　野田河川敷グランドＤ面

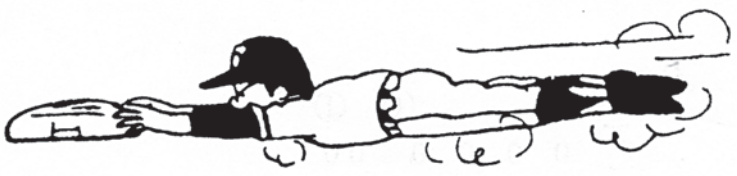
みさと団地ライオンズ	０１２	１０１	０	＝　５
長　崎　ＦＬＢ	２００	２１０	１ｘ	＝　６

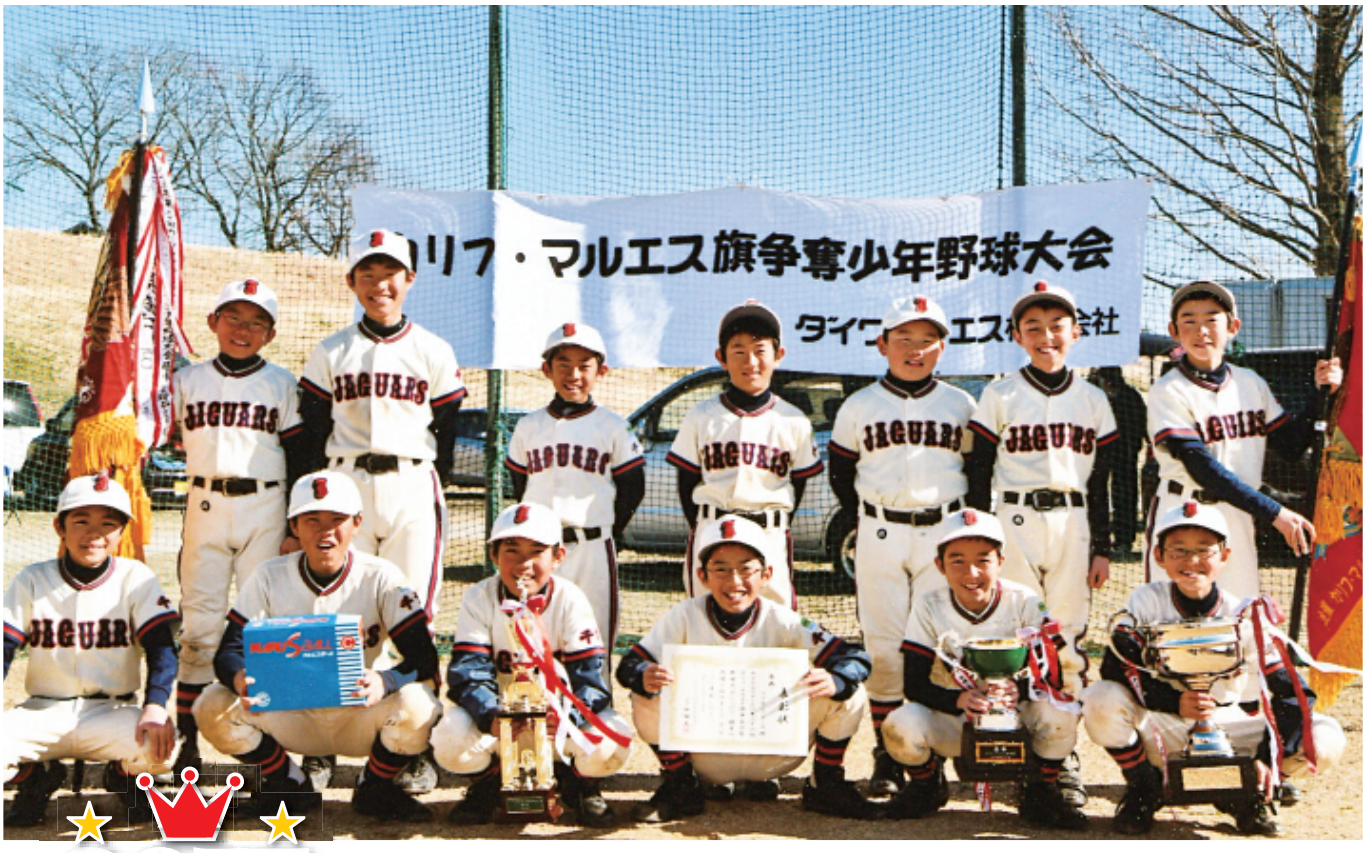
審判：球審・梶居(我孫子市少年野球連盟)　塁審・星本(柏市少年野球連盟)
岡本(我孫子市少年野球連盟)、大桑(柏市少年野球連盟)

☆決勝戦　２月４日(土)　野田河川敷グランドＣ面

南部ルーキーズ	０００	０２０	１	＝　３
リトルジャガーズ	４０１	０１０	Ｘ	＝　６

審判：球審・小泉(大会役員)、塁審・松本(大会役員)、豊田(大会役員)
渋谷(大会役員)





2017 CHAMPION

優　勝　リトルジャガーズ -我孫子-



準優勝　南部ルーキーズ -野田-



第三位　長崎ＦＬＢ　-流山-



第四位　みさと団地ライオンズ　-三郷-

開



第36回(平成29年)
カリフ・
マルエス旗争奪
少年野球大会





前年度優勝

優勝旗・準

会式



平成29年1月21日

於：野田河川敷グランド





・準優勝チームからの

優勝盃の返還







カージナルス・山崎選手の
元気な選手宣誓

整列する決勝大会出場チーム



熱戦スナップ























受賞スナップ





平成29年2月4日
於 野田河川敷グランド





優勝
リトルジャガーズ









準優勝
南部ルーキーズ













第三位
長崎FLB







第四位
みさと団地ライオンズ



ASA 子どもスポーツ新聞
朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"
毎月30日にASA(朝日新聞級生活)からお届けします
平成20年 2月28日号 No.268
発行/千葉県北西部版
発行/朝日新聞社
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-10
TEL(04)7143-4021 FAX(04)7143-3453
URL http://www.asa-kids.com

リトルジャガーズ 我孫子に初の優勝旗

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 南部ルーキーズが準優勝



初優勝を果たしたリトルジャガーズの選手たち

南部ルーキーズ	0	0	0	0	3	0	1	4
リトルジャガーズ	4	0	1	0	1	0	X	6

リトルジャガーズが我孫子に初の優勝旗をもたらした。第36回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会（朝日スポーツキッズ後援）は2月4日、野田市の江戸川河川敷運動広場で決勝があり、リトルジャガーズが南部ルーキーズ（野田）を6―4で破り、初優勝を飾った。我孫子勢はこれまで2004年の第23回大会で久寺家エラーズが3位に入ったのが最高だった。

5年生以下の新チームによる最初の大会で、東葛各市と埼玉県三郷市から64チームが参加。12ブロックに分かれて予選リーグが行われ、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに進出した。3位決定戦は長沼FLB（流山）が、みさと団地ライオンズ（三郷）を7―2で下した。

守り勝ち頂点に

リトルジャガーズが「守り勝つ野球」で64チームの頂点に立った。予選リーグは4戦して失点0。エース鹿田芳貴君を中心とした堅い守りで、決勝トーナメントも危なげなく勝ち進んだ。

決勝は四回を終わって5―0とリード。楽勝かと思われたが、五回に守りのミスで2点差に迫られ、ひやりとした。

打線はクリーンアップの3人がしっかり役目を果たした。初回、3番鹿田君のタイムリーで先制し、なおも無死一、二塁。続く4番橋本琉也君が左中間突破の二塁打を放ち、2者を迎え入れた。五回の追加点も5番田宮豪君の適時打。3人で4打点の活躍だった。


二回裏、リトルジャガーズ無死二塁。三盗を試みた橋本琉也君が捕手の悪送球で生還し、貴重な追加点をあげる

先発の鹿田君は4回3安打無失点の好投。3点リードの七回に背がマウンドに立ち、南部ルーキーズの反撃を1点に抑えた。

本来は主将で捕手の萩原勝輝君がクローザーを務めるが、決勝はけがで代打出場のみ。萩原君が復帰すれば、より強固な投手陣になるだろう。

我孫子に初めて優勝旗を持ち帰る鹿田平監督は「勝ててよかった。いつも協力してくださる我孫子市少年野球のみなさんに感謝したい」と満面の笑み。「県大会優勝を目標に、一段上の野球ができるように練習したい」と新シーズンにかける意気込みを語った。

ブロックリーグ戦　勝敗表

A block

順位		新木野コンドル	みさと団地ライオンズ	東深井ボーイズ	新柏ツインズ	増尾レッドスターズ	前ヶ崎クラブ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	新木野コンドル（我孫子）		○ 6-2	● 3-13	○ 13-0	○ 10-0	○ 23-0	5	4	1	0	8	55	15	40
2	みさと団地ライオンズ（三郷）	● 2-6		○ 11-1	○ 2-1	○ 9-2	○ 11-1	5	4	1	0	8	35	11	24
3	東深井ボーイズ（流山）	○ 13-3	● 1-11		△ 7-7	○ 10-2	○ 14-4	5	3	1	1	7	45	27	18
4	新柏ツインズ（柏）	● 0-13	● 1-2	△ 7-7		△ 7-7	○ 20-0	5	1	2	2	4	35	29	6
5	増尾レッドスターズ（柏）	● 0-10	● 2-9	● 2-10	△ 7-7		○ 12-4	5	1	3	1	3	23	40	△17
6	前ヶ崎クラブ（流山）	● 0-23	● 1-11	● 4-14	● 0-20	● 4-12		6	0	5	0	0	9	80	△71

ブロックリーグ戦　勝敗表

B block

順位		ブラックバード	常盤平ボーイズ	光インパルス	トライスター	向小金ファイターズ	加岸ベァーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ブラックバード（我孫子）		○ 13-5	○ 12-0	△ 5-5	○ 16-0	△ 4-4	5	3	0	2	8	50	14	36
2	常盤平ボーイズ（松戸）	● 5-13		△ 3-3	○ 9-1	○ 18-1	○ 9-1	5	3	1	1	7	44	19	25
3	光インパルス（柏）	● 0-12	△ 3-3		○ 4-3	● 4-8	○ 18-3	5	2	2	1	5	29	29	0
4	トライスター（柏）	△ 5-5	● 1-9	● 3-4		○ 6-1	○ 5-1	5	2	2	1	5	20	20	0
5	向小金ファイターズ（流山）	● 0-16	● 1-18	○ 8-4	● 1-6		○ 8-7	5	2	3	0	4	18	51	△33
6	加岸ベァーズ（流山）	△ 4-4	● 1-9	● 3-18	● 1-5	● 7-8		5	0	4	1	1	16	44	△28

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		高野台ジャガーズ	南流ファイターズ	清水タイガース	小金原ビクトリー	リトルキング	ありんこアントス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	高野台ジャガーズ（柏）		△ 3-3	○ 19-1	○ 8-1	○ 12-1	○ 18-2	5	4	0	1	9	60	8	52
2	南流ファイターズ（流山）	△ 3-3		● 2-3	○ 9-1	○ 15-2	○ 12-0	5	3	1	1	7	41	9	32
3	清水タイガース（野田）	● 1-19	○ 3-2		○ 5-4	● 2-3	△ 3-3	5	2	2	1	5	14	31	△17
4	小金原ビクトリー（松戸）	● 1-8	● 1-9	● 4-5		○ 3-1	○ 4-2	5	2	3	0	4	13	25	△12
5	リトルキング（我孫子）	● 1-12	● 2-15	○ 3-2	● 1-3		○ 6-1	5	2	3	0	4	13	33	△20
6	ありんこアントス（流山）	● 2-18	● 0-12	△ 3-3	● 2-4	● 1-6		5	0	4	1	1	8	43	△35

ブロックリーグ戦　勝敗表

D block

順位		野田ドンキーズ	長崎FLB	根木内ヤングスターズ	柏南ギャランツ	新木ファイターズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野田ドンキーズ（野田）		○ 4-2	○ 19-0	○ 17-0	○ 29-0	4	4	0	0	8	69	2	67
2	長崎FLB（流山）	● 2-4		○ 15-0	○ 17-1	○ 14-1	4	3	1	0	6	48	6	42
3	根木内ヤングスターズ（松戸）	● 0-19	● 0-15		○ 9-6	○ 21-0	4	2	2	0	4	30	40	△10
4	柏南ギャランツ（柏）	● 0-17	● 1-17	● 6-9		○ 11-1	4	1	3	0	2	18	44	△26
5	新木ファイターズ（我孫子）	● 0-29	● 1-14	● 0-21	● 1-11		4	0	4	0	0	2	75	△73

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		江戸川台フェニックス	新和ヴィクトリー	松葉ニューセラミックス	豊上ジュニアーズ	中地ベースボールクラブ	湖北フレンズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	江戸川台フェニックス（流山）		○ 12-1	● 5-6	○ 11-1	○ 8-3	○ 21-1	5	4	1	0	8	57	12	45
2	新和ヴィクトリー（三郷）	● 1-12		○ 3-1	○ 6-5	○ 4-0	○ 31-0	5	4	1	0	8	45	18	27
3	松葉ニューセラミックス（柏）	○ 6-5	● 1-3		△ 9-9	● 0-5	○ 26-0	5	2	2	1	5	42	22	20
4	豊上ジュニアーズ（柏）	● 1-11	● 5-6	△ 9-9		○ 7-3	○ 10-2	5	2	2	1	5	32	31	1
5	中地ベースボールクラブ（野田）	● 3-8	● 0-4	○ 5-0	● 3-7		○ 17-0	5	2	3	0	4	28	19	9
6	湖北フレンズ（我孫子）	● 1-21	● 0-31	● 0-26	● 2-10	● 0-17		5	0	5	0	0	3	105	△102

ブロックリーグ戦　勝敗表

F block

順位		リトルジャガーズ	流山ホークス	北柏スーパーナイン	藤心ジャガーズ	西新田子ども会	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	リトルジャガーズ（我孫子）		○ 2-0	○ 17-0	○ 14-0	○ 19-0	4	4	0	0	8	52	0	52
2	流山ホークス（流山）	● 0-2		○ 10-0	○ 7-0	○ 22-0	4	3	1	0	6	39	2	37
3	北柏スーパーナイン（柏）	● 0-17	● 0-10		○ 5-4	○ 8-2	4	2	2	0	4	13	33	△20
4	藤心ジャガーズ（柏）	● 0-14	● 0-7	● 4-5		○ 17-1	4	1	3	0	2	21	27	△6
5	西新田子ども会（野田）	● 0-19	● 0-22	● 2-8	● 1-17		4	0	4	0	0	3	66	△63

ブロックリーグ戦　勝敗表

G block

順位		柏ドリームス	双葉	アトミックバッファローズ	八木南クラブ	山崎クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	柏ドリームス（柏）		○ 4-0	○ 13-1	○ 19-1	○ 20-0	4	4	0	0	8	56	2	54
2	双　葉（松戸）	● 0-4		○ 8-1	○ 13-0	○ 15-1	4	3	1	0	6	36	6	30
3	アトミックバッファローズ（柏）	● 1-13	● 1-8		○ 4-3	○ 16-1	4	2	2	0	4	22	25	△3
4	八木南クラブ（流山）	● 1-19	● 0-13	● 3-4		○ 6-4	4	1	3	0	2	10	40	△30
5	山崎クーガーズ（野田）	● 0-20	● 1-15	● 1-16	● 4-6		4	0	4	0	0	6	57	△51

ブロックリーグ戦　勝敗表

H block

順位		セントラルパークス	小田急ライオンズ	光ヶ丘シャークス	野田ジャガーズ	加賀シャトルズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	セントラルパークス（松戸）		△ 9-9	○ 8-2	○ 27-0	○ 14-0	4	3	0	1	7	58	11	47
2	小田急ライオンズ（流山）	△ 9-9		○ 5-4	○ 34-1	○ 14-1	4	3	0	1	7	62	15	47
3	光ヶ丘シャークス（柏）	● 2-8	● 4-5		○ 22-4	○ 8-5	4	2	2	0	4	36	22	14
4	野田ジャガーズ（野田）	● 0-27	● 1-34	● 4-22		○ 2-1	4	1	3	0	2	7	84	△77
5	加賀シャトルズ（柏）	● 0-14	● 1-14	● 5-8	● 1-2		4	0	4	0	0	7	38	△31

ブロックリーグ戦　勝敗表

I block

順位		野菊野ファイターズ	流山マリーンズ	若草サンライズ	柏ボーイング	野田ロッキーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野菊野ファイターズ（松戸）		○ 2-1	○ 3-1	○ 2-1	○ 9-2	4	4	0	0	8	16	5	11
2	流山マリーンズ（流山）	● 1-2		○ 14-3	○ 10-1	○ 9-1	4	3	1	0	6	34	7	27
3	若草サンライズ（柏）	● 1-3	● 3-14		○ 8-2	○ 22-4	4	2	2	0	4	34	23	11
4	柏ボーイング（柏）	● 1-2	● 1-10	● 2-8		△ 5-5	4	0	3	1	1	9	25	△16
5	野田ロッキーズ（野田）	● 2-9	● 1-9	● 4-22	△ 5-5		4	0	3	1	1	12	45	△33

ブロックリーグ戦　勝敗表

J block

順位		カージナルス	豊四季イーグルス	牧の原ジュニアーズ	柳沢イーグルス	柏リアノス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	カージナルス（流山）		○ 10−1	● 6−7	○ 9−0	○ 14−0	5	3	1	0	6	39	8	31
2	豊四季イーグルス（柏）	● 1−10		○ 18−3	○ 5−0	○ 12−1	5	3	1	0	6	36	14	22
3	牧の原ジュニアーズ（松戸）	○ 7−6	● 3−18		○ 9−0	○ 8−1	5	3	1	0	6	27	25	2
4	柳沢イーグルス（野田）	● 0−9	● 0−5	● 0−9		○ 9−4	5	1	3	0	2	9	27	△18
5	柏リアノス（柏）	● 0−14	● 1−12	● 1−8	● 4−9		5	0	4	0	0	6	43	△37

ブロックリーグ戦　勝敗表

K block

順位		松戸スラッガーズ	千代田ファイターズ	四小地区少年野球クラブ	中根ヤンキース	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松戸スラッガーズ（松戸）		○ 22-1	○ 5-1	○ 15-2	○ 19-0	4	4	4	0	8	61	4	57
2	千代田ファイターズ（柏）	● 1-22		○ 8-7	○ 7-1	△ 5-5	4	2	1	1	5	21	35	△14
3	四小地区少年野球クラブ（柏）	● 1-5	● 7-8		○ 10-0	○ 9-2	4	2	2	0	4	27	15	12
4	中根ヤンキース（野田）	● 2-15	● 1-7	● 0-10		○ 16-8	4	1	3	0	2	19	40	△21
5	GBC流山（流山）	● 0-19	△ 5-5	● 2-9	● 8-16		4	0	3	1	1	15	49	△34

ブロックリーグ戦　勝敗表

L block

順位		南部ルーキーズ	沼南ファイヤーズ	柏ヤンガーズ	初石クーガーズ	串崎スワローズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	南部ルーキーズ（野田）		○ 7-3	○ 4-3	○ 23-0	○ 10-3	4	4	0	0	8	44	9	35
2	沼南ファイヤーズ（柏）	● 3-7		○ 12-0	○ 20-1	△ 1-1	4	2	1	1	5	36	9	27
3	柏ヤンガーズ（柏）	● 3-4	● 0-12		○ 5-4	○ 9-6	4	2	2	0	4	17	26	△9
4	初石クーガーズ（流山）	● 0-23	● 1-20	● 4-5		○ 10-6	4	1	3	0	2	15	54	△39
5	串崎スワローズ（松戸）	● 3-10	△ 1-1	● 6-9	● 6-10		4	0	3	1	1	16	30	△14

★ブロックリーグ戦 概評★

◆Aブロック

新木野コンドル、みさと団地ライオンズ、東深井ボーイズの３チームがそれぞれ１敗で、最後まで決勝大会への進出権を争ったが、最終的には東深井ボーイズが首位となった新木野コンドルに勝ちながらも、下位の新和ヴィクトリーとの引分けがあって３勝に留まった。

このため、４勝１敗の新木野コンドルとみさと団地ライオンズが同成績で決勝大会への進出を決め、東深井ボーイズは無念の涙を飲んだ。なお、決勝大会への進出を決めた２チームの順位は、対戦勝者の新木野コンドルが上位となった。

◆Bブロック

１位から６位まで星の潰しあいが激しく、最も激戦を展開したブロック。首位となったブラックバードは、最下位の加岸ベァーズと４位のトライスターに引き分けたが、他の３試合に勝利して、３勝２引分けの負けなしの成績で首位を確保した。

２位争いは常盤平ボーイズと光インパルスで競り合った結果、常盤平ボーイズが獲得した。この両チームはブラックバードには敗れたが、直接対決では引き分けたため一時は順位が混沌となった。しかし、最終的に光インパルスが下位の向小金ファイターズに敗れて２敗となって脱落した。

４位となったトライスターは、首位のブラックバードとの引分けは評価も、常盤平ボーイズと光インパルスに敗れたのが致命傷となった。

◆Cブロック

高野台ジャガーズが南流ファイターズとは引き分けたものの、他の４試合に全て大勝して首位に輝いた。２位は高野台ジャガーズとは引き分けたが、下位の清水タイガースに敗れた南流ファイターズが３勝１引分け２敗の成績で確保した。

３位となった清水タイガースは、上位の南流ファイターズに勝ちながら、下位のリトルキングに敗れ、さらに最下位のありんこアントスと引分けたため、決勝大会進出の夢破れた。

このブロックは３位以下も混戦状態で、４位小金原ビクトリー、５位リトルキングの３チームはそれぞれ２勝を挙げたが、直接対決での敗戦と引分けの差で最終順位が決定した。

◆Ｄブロック

このブロックは５チーム編成だったが、野田ドンキーズが安定した実力を発揮して、４戦全勝で首位を決めた。ちなみに、野田ドンキーズは４試合で総得点６９点（１試合平均１７．３点）を挙げたが、これはリーグ戦全体ではＮＯ．１の記録。また、総失点２点（１試合平均０．５点）は、Ｆブロック首位リトルジャガーズの０点に次ぐ最少記録で、これらから判断してもチーム力はかなり高いことが証明出来る。

２位は野田ドンキーズに惜敗した長崎ＦＬＢが、他の３試合に圧勝して３勝１敗で決勝大会への進出権を獲得した。

なお、このブロックは以上の２チームの実力が抜けていて、実質的にはこの２チームによるマッチレースの感じだった。

◆Ｅブロック

４勝１敗で首位となった江戸川台フェニックスから、２勝３敗で５位となった中地ベースボールクラブまで各チームの実力が拮抗していて、熾烈な順位争いを展開した。

１位江戸川台フェニックスと２位新和ヴィクトリーは同成績ながら、順位は対戦勝者の江戸川台フェニックスが上位で、結果的にはこの２チームで決勝大会への進出が決まった。

３位となった松葉ニューセラミックスと４位豊上ジュニアーズはともに２敗で、一時は２位争いの芽はあったが、両チームが直接対決で引分けだったことと、上位２チームが１敗ラインを死守したことで、決勝大会進出権を確保することが出来なかった。

◆Ｆブロック

このブロックからＬブロックまでは、Ｄブロックと合わせて全て５チーム編成でのリーグ戦となった。

リトルジャガーズの実力が一際突出していて、４試合全勝に加えて全て完封勝ちは、これまでの球史にも無かった大記録。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点が５２点（１試合平均１３点）に加えて、総失点０はリーグ戦では初めてであり、この数字は実力がハイレベルであることを充分物語っている。

２位流山ホークスはリトルジャガーズに善戦惜敗も、他の３試合を大勝して決勝大会への進出をを決めた。このブロックはこの２チームのマッチレースに終ったが、３位北柏スーパーナイン以下は星の差一つで順位決定も、上記２チームとは実力的にはかなり開きがあった。

◆Gブロック

４勝０敗で首位となった柏ドリームス以下、星一つの差で順位が決定したが、内容的には柏ドリームスの実力が抜けていて、同チームの独走に終った．ちなみに、同チームの４試合での総失点２（１試合平均０．５点）は、Ｆブロック首位リトルジャガーズの０点に次ぐ少ない記録（ほかにＤブロック野田ドンキーズも同じ）で、これはデフェンスの良さを物語っている。

２番手は柏ドリームスには完敗したが、他の３試合を手堅く勝利した双葉が、３勝１敗の成績で決勝大会進出を決めた。

◆Hブロック

セントラルパークスと小田急ライオンズのマッチレースで、この両チームは直接対決でも引き分けて、ともに３勝１引分けとなって決勝大会への進出を決めた。順位的には引き分けのため、得失点差での決着となったが、ともに４７点で同数となったことで、最後は総失点の少ない方が上位扱いとなって、セントラルパークスが１位、小田急ライオンズが２位となった。なお、このようなケースでの順位決定は非常に珍しいケース。

◆Ｉブロック

野菊野ファイターズと流山マリーンズの実力が抜けており、３位若草サンライズ以下はちょっと開きがあった。この２チームの直接対決は、僅差で野菊野ファイターズが勝って４戦全勝で首位となったが、敗れた流山マリーンズも他の３試合は大勝しているだけに、実力的にはほぼ互角とみられた。

なお、決勝大会への進出を決めた野菊野ファイターズと流山マリーンズは、ともにデフェンスの良さが目立ち、それが記録（総失点）にも表れている。

◆Ｊブロック

カージナルス、豊四季イーグルス、牧の原ジュニァーズの３チームが決勝大会進出枠の２チームを巡って、最後まで順位争いを演じて盛り上がった。

結果は、３チームが３勝１敗の同成績となって、しかも三つ巴となったため、順位決定は得失点差による決着となって、カージナルスが首位、豊四季イーグルスが２位となり、一時トップを走っていた牧の原ジュニァーズは、対豊四季イーグルス戦の大敗が祟って無念の涙を飲んだ。

◆Kブロック

松戸スラッガーズの実力が傑出していて４戦全勝は、内容的にも文句なしの首位。ちなみに、同チームの４試合での総得点６１点（１試合平均１５．３点）と総失点４点（１試合平均１点）がそれを如実に証明している。このうち総得点６１点は、Dブロック首位野田ドンキーズの６９点に次ぐリーグ戦２番目の快記録。

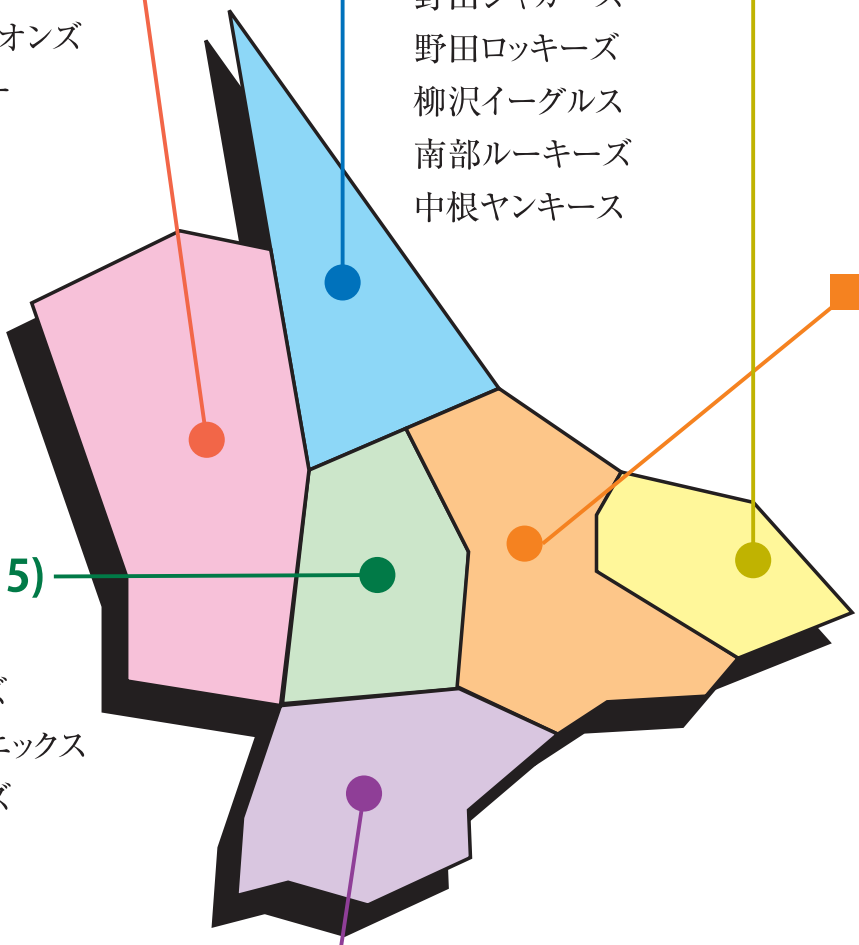
２位は最下位のＧＢＣ流山と引き分けた千代田ファイターズが、２勝１引分け１敗の成績で確保したが、松戸スラッガーズとは実力的にはかなりの開きがあった。惜しかったのはむしろ四小地区少年野球クラブ。千代田ファイターズには１点差の惜敗で、結果論だがこれを制していれば２位の芽があっただけに残念だった。

◆Ｌブロック

南部ルーキーズが４戦全勝で独走、首位を確保した。焦点は決勝大会進出権を賭けた２位争いに絞られられ、沼南ファイヤーズと柏ヤンガーズがその対象となったが、最終的には最下位の串崎スワローズと引き分けた沼南ファイヤーズが、柏ヤンガーズとの直接対決を制して２勝１引分け１敗で決勝大会への進出権を獲得した。



第36回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム



■野田地区(10)

野田ドンキーズ
清水タイガース
中地ベースボールクラブ
西新田子ども会
山崎クーガーズ
野田ジャガーズ
野田ロッキーズ
柳沢イーグルス
南部ルーキーズ
中根ヤンキース

■我孫子地区(6)

ブラックバード
リトルジャガーズ
湖北フレンズ
リトルキング
新木ファイターズ
新木野コンドル

■三郷地区(2)

みさと団地ライオンズ
新和ヴィクトリー

■柏地区(22)

加賀シャトルズ
豊上ジュニアーズ
藤心ジャガーズ
増尾レッドスターズ
光ヶ丘シャークス
豊四季イーグルス
北柏スーパーナイン
柏ドリームス
柏ボーイング
四小地区少年野球クラブ
光インパルス
沼南ファイヤーズ
高野台ジャガーズ
千代田ファイターズ
柏リアノス
トライスター
松葉ニューセラミックス
新柏ツインズ
柏ヤンガーズ
柏南ギャランツ
アトミックバッファローズ
若草サンライズ

■流山地区(15)

流山マリーンズ
初石クーガーズ
江戸川台フェニックス
東深井ボーイズ
長崎FLB
カージナルス
加岸ベアーズ
流山ホークス
小田急ライオンズ
南流ファイターズ
前ヶ崎クラブ
ありんこアントス
八木南クラブ
向小金ファイターズ
CBC流山

■松戸地区(9)

常盤平ボーイズ
小金原ビクトリー
根木内ヤングスターズ
双葉
セントラルパークス
野菊野ファイターズ
牧之原ジュニアーズ
松戸スラッガーズ
串崎スワローズ

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	昭和57年 1982	15	リアノス（柏）	伊勢原ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ（流山）	伊勢原ジャガーズ（柏）	リアノス（柏）
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	江戸川台アトラス（流山）
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス（柏）	ありんこアントス（流山）	つくしが丘ファイブス（柏）
5	昭和61年 1986	36	リアノス（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	加岸クラブ（流山）
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ（柏）	向小金ファイターズ（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	名戸ヶ谷ウォリアーズ（柏）
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス（柏）	西山イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	光団ファイターズ（柏）
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス（流山）	増尾レッドスターズ（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	トライスター（柏）
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス（柏）	泉ライオンズ（流山）	ありんこアントス（流山）
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（野田）
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（柏）	トライスター（柏）
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ（柏）	清水タイガース（野田）	八景台ジュニアーズ（松戸）
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	向小金ファイターズ（流山）
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	前ヶ崎クラブ（流山）
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	セントラルパークス（松戸）
22	平成15年 2003	61	長崎FLB（流山）	大津が丘ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	久寺家エラーズ（我孫子）
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ（流山）	東深井ファイナルズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加賀シャトルズ（柏）
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ（松戸）	松葉ニューセラミックス（柏）	柏ビクトリー（柏）
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ（野田）	セントラルパークス（松戸）	串崎スワローズ（松戸）
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏） 常盤平ボーイズ（柏）
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	豊上ジュニアーズ（柏） 流山ホークス（流山）
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）	江戸川台フェニックス（流山）
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ（柏）	豊上ジュニアーズ（柏）	セントラルパークス（松戸）
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。		
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ（流山）	カージナルス（流山）	柏ドリームス（柏）
35	平成28年 2016	71	松戸スラッガーズ（松戸）	野菊野ファイターズ（松戸）	三郷スターズ（三郷）
36	平成29年 2017	64	リトルジャガーズ（我孫子）	南部ルーキーズ（野田）	長崎FLB（流山）

（注）第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　開催要項

（平成25年一部改正）

主催・主管　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会
共　　催　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
後　　援　株式会社カリフ・柏食品株式会社　　ダイワマルエス株式会社
　　株式会社共同写真企画　　流山ボーイズ　　朝日スポーツキッズ

開催期間　ブロックリーグ戦
　原則として抽選会以降の１０月から年内１２月下旬までに終了させる。
　決勝トーナメント大会
　翌年１月下旬から２月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

開催方法　・出場資格は５年生以下の新チームとする。
・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当りのリーグ戦によって上位２チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、１ブロックの構成は６～８チームをベースとする。
・試合方法は全試合７回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味１時間３０分。シートノックは５分以内とする。
・試合の終了は、３アウト目が主審の時計で１分を切っている場合は試合終了。１分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、７回までとする。
・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て７回または時間制。７回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
・但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦を除いた全試合にコールドゲーム（３回以降１０点差、５回以降７点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って３名）を適用する。
・決勝戦のみコールドゲームは用いないが、回数は７回または規定時間までとする。同点の場合は特別ルールを適用（２回まで）するが、それでも勝負がつかない時は抽選によって勝敗を決める。
・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、７回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。７回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする・
・投手の一試合での投球回数を５回、１５アウトまでとし、さらに一日の投球回数は１０回３０アウトまでとする。
・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準　リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。
但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は３チームの中では最下位となる。
なお、リーグ戦の成績は平成２５年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０点とする。

日程編成　リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。
負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は０－１０）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。
当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。

ブロック長　ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは０－１０）とみなして勧告し、その行為を２回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。
ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。
決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（１名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき５００円の食事代が支給されます。
決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。

大会参加費　１チーム　５，０００円（抽選会の時に会計に納入して下さい）

記　　録　事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。また、当該ブロックの試合結果などはその週のうちに下記まで報告して下さい。

平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２（ＦＡＸにて）
小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９（ＦＡＸにて）
（注）ホームページに掲載します
ＨＰ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ１３．ｐｌａｌａ．ｏｒ．Ｊｐ／ｎｎｂｂ／
「流山市少年野球連盟北部地区」　カリフ大会の項目に書き込み

参加チーム　抽選会（毎年１０月中旬から１１月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開　会　式　決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてＡＭ９：００も、出場チームはＡＭ８：３０までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

付記事項　①選手及び指導者（監督及びコーチ２名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は５名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は１０番、監督は３０番、コーチは２８番と２９番とする。
②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。
③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。
⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。
⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。
⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。
⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員（H28/1 改選）

会長	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木　誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
〃	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	
審判部副部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
〃	＊川口裕司	松戸市少年野球連盟役員
運営委員（事業部担当）		
〃	豊田　穣	流山市少年野球連盟役員
〃	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
〃	＊八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
〃　監査役兼務	今野正博	野田市少年野球連盟役員
運営委員（審判部担当）		
〃	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡野　誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
〃	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤　巌	柏市少年野球連盟役員
〃	吉田　繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱田　健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居倉　諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス（株）東京営業所長

(注) ＊印は非常勤

第36回　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　会計報告

平成２９年4月１６日

◆収入の部

大会参加費	＠５０００×64チーム	￥320,000
ボール販売手数料		￥　16,000
第35回大会より繰越金		￥　40,600

収入合計　376,600円

◆支出の部

＊大会運営費		￥　82,560
内訳	決勝トーナメント用ボール代	￥　34,560
	審判手当　80名×＠500	￥　40,000
	役員	￥　8,000
＊賞状・トロフィー代		￥　98,332
内訳	賞状	￥　20,000
	トロフィー代	￥　78,332
＊資料代（冊子データ処理）		￥120,000
	編集代	￥　20,000
	冊子(データ処理)	￥　80,000
	冊子プリント	￥　20,000
＊事務局経費		￥　8,940
内訳	・抽選会・会場費	￥　6,480
	・決勝トーナメント抽選会	¥2,460
＊会議費		￥　20,000
内訳	打ち合せ会議費（ブロック）	￥　8,000
	打ち合せ会議費（決勝戦）	￥　12,000

※打合せ会議費野中に大会期間中の昼食代を含んであります。

支出合計　329,832円

※収入　376,600円－支出　329,832円＝　46,768円　は、第37回大会へ繰り越します。

会計担当　平田　宗久

小泉会計担当から提示されました、平成29年度柏流さよなら大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。

平成29年4月17日

会計監査担当
今野　正博

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX 04-7197-0115

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

流山クラブボーイズ　中学部

公益財団法人
日本少年野球連盟 BOYS LEAGUE



新入部員募集!!

流山クラブボーイズ中学部には毎年、各地域の少年野球連盟から
多くの少年達が入部し活躍を続けています。
そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手も多く 、
プロ野球選手になった先輩もいます。
流山クラブボーイズ中学部では 、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ 、
一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
皆さん是非一度、流山クラブボーイズ に見学・体験にお越し下さい。

主な進学校

習志野高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
木更津総合高校	市立柏高校	安田学園高校
東葛飾高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
浦和学院高校	県立柏高校	東洋大付属牛久高校
我孫子高校	帝京高校	流経大付属柏高校
春日部共栄高校	二松学舎沼南高校	常総学院高校
柏陵高校	日大豊山高校	拓大付属紅陵高校
西望学園高校	市川学園高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

主な戦績

◆全国春季大会	出場12回	
◆全国選手権大会	出場12回	ベスト4=2回
◆ジャイアンツカップ	出場 3回	ベスト8=1回
◆関東大会	出場18回	準優勝1回・ベスト4=3回
◆東日本大会	出場16回	優　勝1回・準優勝1回
◆関東ボーイズリーグ大会		第一回大会から連続参加中
		準優勝１回・ベスト4=3回

中学部　連絡先

総監督　新佐古 公人
監　督　猪狩 貴範　090-6159-4373
1年担当コーチ　山崎　衛　090-4726-8228

http://nagareyama-club.webnode.jp/

流山市
江戸川河川敷グランドH面にて、
練習しています。
※試合でいない場合もありますので、確認をとってください。

見学・体験
大歓迎!!



